

特集 健康経営優良法人認定企業に迫る

第1章

健康経営研究の第一人者と 好事例企業から最前線を追う



「健康経営優良法人認定企業に迫る」プロジェクトチーム

1. 健康経営は経営戦略の一つ

健康経営は、経済産業省によると「従業員等の健康保持・増進の取組が、将来的に収益性等を高める投資であるとの考えの下、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること」と定義されている。

昨今、健康経営が注目されている背景の一つとして、労働人口の減少があり、特に中小企業にとって従業員の離職防止や採用の推進は、安定した事業継続に必要不可欠である。

本特集は、中小企業診断士にとっても、経営戦略の一つとして重要性を増している健康経営への理解を深め、今後の企業支援に役立てていただくことを目的としている。

健康経営研究の第一人者への取材、および健康経営を経営戦略として実践する中小企業の取組み事例を深掘りすることにより、「健康経営の最前線」に迫る。

2. 特集の構成

以下に、本特集における各章の概要について紹介する。

第2章 ビューティ&ウェルネス専門職大学 教授 新井 卓二氏

健康経営の研究と普及に長年携わる新井氏に、健康経営の最新動向や中小企業における

取組みの実情、支援者としての中小企業診断士の役割などについて伺った。

本章は、第3～5章で紹介する好事例企業の取組みに先立ち、健康経営の要点についてまとめる。

第3章 大橋運輸株式会社

経営者が経営再建を通じて抱いた、「ビジネスモデルを変え、良い仲間と仕事ができる会社をつくりたい」という強い思いを、健康経営とダイバーシティの推進で実現するストーリーである。20年以上にわたる継続により健康経営を会社の文化として定着させ、運輸会社を「地域課題に挑戦する会社」へと変革した。

第4章 株式会社岡崎土質試験所

創業者の強い信念のもと健康経営を進め、認定要件を活用して継続的に改善。評価制度を軸にした社員との対話と併せて、働きがいのある会社づくりを実践。社内外での好循環により社員のエンゲージメント向上を実現、離職率ゼロの達成など成果を上げている。

第5章 公益財団法人枚方市スポーツ協会

健康経営を経営理念の実現手段と位置づけ、担当者の熱意と工夫によって社内改革を成し遂げた。その取組みの目的を経営理念と結びつけ、わかりやすいストーリーとして発信することで高い外部評価を得ている。